

## H28 小田原市総合戦略有識者会議における効果検証

### 1. 【地方創生関連交付金事業に係る効果検証について】

- ・ 全体を通して進捗しているが、農業、健康関係の事業が相対的には効果がさほどという感じで、観光面が進んでいるという感じを受けた。
- ・ 実績が0のものはよくないという認識がある。0を1にするのは難しいと思うが、やっていないと見られてしまうので。
- ・ 観光面では、マスコミなどで取り上げられることも多いので、マスコミの効果が大きい部分もあるのかなという印象を持っている。
- ・ 指標値と実績を見ていると、バラつきがあるので、そのあたりをどうしていくのかなと思った。例えば耕作放棄地の達成率は良い結果が出ているが、実際には、耕作放棄地はたくさんある。もう少し高い目標でも良かったのかなとも思う。
- ・ レンタサイクル事業について、実績額と記載されているが、指標とそのお金で比較するのはあまりよろしくないかと思う。他にも様々な経費を要しているはずなので。実績が2,500台に対して、事業費が211万円なので、1人1回借りると1,000円弱であり、これが収入として入ってくるということであればまあまあいいのかなとも思うが、そういう見方をしてはいけない気もする。いずれにせよ、ここにある評価の仕方ではない評価方法もあるなど思った。ただ、全体として実績が伸びているので、それはよいのかなと思う。
- ・ 指標に採用されている項目自体がそもそもこれでよいのかという感想がある。観光PR事業について、事業自体が外国人観光客に関係しているものならば、本来的には、指標として外国人観光客が増えたかが分かる指標がよいのではとも思う。レンタサイクルについても台数を指標に置いているが、事業に要した費用と実績を比べて費用対効果はどうだったのかというような検証も必要なのではないかと思う。
- ・ 小田原はターミナル駅であり、小田原駅には外国人があふれている。しかしながら、街なかでは、外国人を見かけない。乗り換え用途で来ているという印象。そういった方々を小田原城までどうしたら誘導していけるかを考えていったほうがよいかと思う。

### 2. 【総合戦略に係る効果検証について】

- ・ 起業家支援について、実際に創業された方はもっとたくさんいるように思える。戦略に位置づけた支援事業での実績が少ないのであれば、PRの仕方にもっと工夫がいるかもしれない。

- 起業家支援の事業については、参加者の中でもすぐに起業したいという人もいれば、少し間を置いてという人もいると思う。そこは計画期間が5年間なので、徐々にそういった方も出てくるのかなとも思う。
- 5年間で25件の起業というのは少ないという印象を受ける。もう少し、創業支援をする金融機関側も勉強が必要なのかなとも思う。窓口に来た人に支援策を案内するなどでできれば、もしかしたらそんなに難しい話ではないのかなとも思う。
- 起業した件数が一番大事だというのは怖いなという印象を受ける。つまり、5年生存率、10年生存率というようにその後も継続して続くことが大事。ただ数に拘って起こればよいという話ではなく、起業にいたった企業がどれだけ地域に根付いて雇用を生み出すかということが大事なのかなとも思う。立ち上がった後の企業の支援もニュアンスとして入ってくるとよいのかなとも思う。
- 「子どもを産み育てやすい環境をつくる」のところで待機児童数の基準が16人であったが、実績は22人と増えてしまっている。また、若年層が住んでいる地区は、競争率が高いというようなことも聞いている。5年間で0を目指すというより、本来は、毎年度0を目指すというのが正しいのかなと感じた。